

北九州市学童保育連絡協議会

学保連ニュース No.3

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園 2 丁目 4-22 TEL 093-662-6000 ・ FAX 093-662-6006

2019年3月26日発行

E-mail gakuhoren6000@axel.ocn.ne.jp

1日ごとに暖かくなり、今年は桜の開花が早くなりそうです。

学童保育では春休みの準備、卒所式、入所式、また今年の5月1日の天皇の即位式に伴う休日（10連休）の対応等お忙しい日々をお過ごしのこととおもいます。

新しく学童に入った子どもたちが「ただいま！」「また明日！」と元気に通える、また保護者が安心して働ける学童保育を目指していきましょう。

第37回 福岡県学童保育研究集会

○2019年2月24（日）

○宗像ユリックス・メイトム宗像

メインテーマ：「ただいま～」「また明日！」みんなで楽しむ学童保育
～保護者・支援員・地域で子どもの権利を考えよう！～

記念講演：『子どもたちにいきいきとした放課後を
～学童保育のあゆみと今 <そして未来>』

講師：石原 剛志氏（静岡大学大学院教授）

参加人数440名
北九州から130名参加
しました



今回は16年ぶりに宗像で開催され、お天気にも恵まれ1日を無事に終えることができました。

全体会では石原剛志先生より、「学童保育の歴史には、語り継がれるカリスマはいない、なぜなら学童保育は父母、指導員が作ってきたもので、熱心な人々のあゆみが今につながっている。また親の声が小さくなると国の思い通りになってしまう。私たちがしなければならないことは、学童保育の基準を高めること、支援員の身分保障、そのためにはスキルアップ意識を持つこと、子どもの声を聴くことから未来を考える」と話されました。午後は、12の分科会に分かれてそれぞれのテーマで学習をしました。保護者同士・支援員同士、交流をしたり、講師の方にたくさん質問をして有意義な1日となりました。



オープニング 赤間太鼓



記念講演 石原 剛志先生



特別報告 うきは支援員会

参加者の声



『あそびの広場』で楽しかったことは、けんを作ったことと、ミサンガを作ったことと、外で遊んだことと、指名手配人ゲームをしたことと、へんそうをしたことです。いやだったのもあります。ふうせんをばんばんわっていたことと、ざぶとんの中に人をかくしていたことと、あばれていたことです。

新しい友だちといろいろできて楽しかったです。

(3年生)

最初は知っているお友だちがいないから、たいくつだったけど、先生が積み木みたいなおもちゃで遊ぼう！と話かけてくれて一緒にあそびました。後、ふうせんをつぶしてあそんだり、棒を作って先生と戦いごっこをしました。知らない子に「あそぼ」と話しかけて、ざぶとんでジャンプをしたり、先生が考えた「だいこんぬき」あそびをしました。楽しかったです。お昼を食べた後はみんなで戦いごっこをしました。

おやつを食べたりしました。じゃんけんにも勝っておかわりもできました。

(2年生)

私自身も1980年代に学童保育に通っていたので、両親が働きながら学童保育の運営に関わっていたことを思い出しながら、石原先生の講演をお聞きました。何もなかったところからのつくり運動は本当に大変だった反面、みんなで作り上げる楽しさや活気のある時代だったのかな、とも想像します。関わってきた、たくさんの方々があった礎の上に今の学童クラブがあることを改めて知り、大切に守り発展させていきたいと感じました。

(支援員)

学童保育研究会に参加して

感覚統合の見方から子どもたちの行動を理解していく。日頃子育てでは、なかなか考えられない見解をわかりやすく教えてもらいました。大人が決めるのではなく、子どもに選択権がある。子どもの目線で考えてあげることが大切である。参加してみて改めて考えさせられることが多く今後の子育ての参考にします。

(保護者)

どこの学童さんも保護者会の参加が少なく、役員決めになると役員になってくれる保護者がいなくて、くじ引きで決めていると言っていました。毎日仕事が忙しく(休みの日はゆっくりしたいと思っている保護者が多いのだと思いました。)

子育ての共同化・・・学童保育とかかわることで「他の家の子もかわいい」と思えるようになる。という話がありました。学童での行事に参加したりすることで学童にいる子どもたちの事を気にかけるようになったり、かわいく思えたりする。最近は親同士の関係が希薄になっているので、もっと親同士が関わり、子育ての悩みなど話しをすることで、子どもの事をわかってもらえるようになるのではないかと。

今の時代に合った、保護者同士の関わりを考えていく必要があるとの話もありましたが、私は多くの保護者と関わり、子育ての悩みを話し合える場を作りたいと思いました。また、参加されていた支援員の先生方が子どもの事、保護者の事を色々考えてくれていることを知り、とても嬉しく思いました。

(保護者)

運営委員交流会をしました

○2019年2月15日（金）

○八幡東大谷市民センター

毎年行っている運営委員さんの交流会をしました。

今回は事前に主に加盟クラブから「運営状況アンケート」を取り、16クラブから回答がありました。アンケート集計結果と、北九州連絡協議会の歴史と役割、現在の活動について報告し、交流しました。

○参加10名（加盟クラブ2クラブ、加盟外3クラブ、市連会長、事務局）

各学童の保護者会行事等と重なり、少ない参加でしたが、運営員委員長の役割、支援員の役割、待遇、募集方法、具体的な保護者会の回数、行事等細かく交流することが出来ました。

昨年に続き、学童保育クラブの運営に携わる方々の意見を聞くことが出来ました。これらの意見を伺い、運営に携わる方々・支援員の方々の連携、保護者の皆さまの協力が必要なことが分かります。市連協として根気強く各クラブの意見をまとめ、行政への働きかけが必要と感じました。

（役員）

「従うべき基準を堅持することが実現できる財政措置を求める」署名活動

学童保育は1997年に法制化され、2015年に厚生労働省令「放課後児童健全育成事業の設備及び運営の関する基準」で、「放課後児童支援員」という資格を持った支援員を原則2名以上配置することとなっています。しかし、各自治体や学童保育現場によって実施状況は様々で、基準が出来て4年もたないうちに、地域の実情に応じて、「参酌化」されようとしています。昨年6月に「従うべき基準を堅持すること」を求める署名を20万8,993筆（北九州は1,437筆）集め、国会に提出しましたが、審議未了となりました。

福岡県学童保育連絡協議会と北九州市学童保育連絡協議会では、地方議会から国に「従うべき基準を堅持する」意見書を提出してもらい取り組みを行い、福岡県議会、北九州市議会でも意見書が提出されました。

新たに署名に取り組みます！

子どもの安全と安心を保障する「従うべき基準」（「放課後児童指導員」という資格をもった指導員を原則2名以上配置する）を堅持し、実現するための財政措置の請願署名です。

第1次〆切 3月31日

最終〆切 5月31日

**学童保育を守ろう！
子どもたちを守ろう！
声をあげよう！**



署名の主旨説明、取り方、書き方など署名用紙と一緒に配布しています。
学童保育の質が下がることのないよう、ご協力よろしく願いいたします。

こ れ か ら の 予 定

○第 44 回全国学童保育指導員学校 九州会場

- ・ 日程：2019年6月23日（日）
- ・ 場所：春日クローバープラザ
- ・ 全体講演 下浦 忠治氏（元学童保育指導員 ・ 現東京成徳大学子ども学部 講師）

17 の講座に分かれて学習交流します。同じ立場の人とたくさん話しましょう。子どもを預けるところもあります。



○第 54 回全国学童保育研究集会

- ・ 日程：2019年10月19日（土）～20日（日）
- ・ 場所：京都
（福岡県連で宿泊先と交通機関を準備しています。詳しいことは後日書面でご案内します。）

最 後 に

今年度も皆様のご協力のもと、「学童保育クラブまつり」「夏の映画」「全国学童保育研究集会」「全国学童保育指導員学校」「福岡県学童保育研究集会」など、様々な活動に取り組むことが出来ました。

6月に「北九州市学童保育連絡協議会定期総会」を予定しています。放課後の子どもたちのために、学童保育の課題をみんなで話し合っていきましょう。

引き続き学童保育や北九州市学童保育連絡協議会についてのご質問ご意見も募集していますので、上記の住所、電話番号、FAX、メール等々でご連絡いただけたらと思います。

今年度、最後のニュースとなりました。来年度は、もっとリアルタイムにお届けできるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。



**子ども達に豊かな放課後を！
子どものためにより良い学童育
を作っていきます！**